

2012年12月

ロータリークラブ会長各位

国際ロータリー会長  
田中 作次

東ヶ崎潔記念ダイアログハウスに募金しようではありませんか

朋友ロータリアンの皆さん、2002-2003 ロータリー年度私は田中作次ロータリー平和フェロシップ基金を設立しました。今年度は「奉仕を通じて平和を」をRIテーマとしました。平和という概念は、人によって、文化によって異なります。心の平安や家族の幸せ、満足感を指す場合もあるでしょうし、人間の基本的ニーズが満たされた安全な状態をさすこともあるでしょう。平和は政府間の協定や英雄的な闘争を通してだけ達成されるものではなく、私たちの日々のささやかな行いの積み重ねによって成し遂げられるものです。

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センタープログラムは2002-2003年度にスタートしたロータリー財団のプログラムで、国際基督教大学に設置されたロータリー平和センターでは世界中から選抜されたロータリー平和フェローたちが、国際関係、平和研究、紛争解決をはじめとする関連分野で、修士号取得を目指し学んでいます。

平和フェローたちは社会に対する責任感を持って、世界をもっとよい場所にするために尽力してくれており、国連、世界銀行、国際移住機関、米州機構をはじめ、各国政府機関、二か国間または国際非政府組織やコンサルティング会社等で活躍しています。私は彼等を支援することで、我々が一人でするよりも、もっと多くの平和活動ができると考えています。平和に向けた努力は、すべての人から始まると思います。

東ヶ崎潔記念ダイアログハウスの完成により、国際基督教大学のロータリー平和センターとしての地位は一層向上し、延いては、平和フェロシップ制度そのものの発展につながるでしょう。多くの平和フェローが輩出されている日本に設置されたアジア圏唯一のロータリー平和センターです。ロータリアンひとり一人の協力が平和に一步前進するのです。

国際基督教大学からの寄付要請は2億円です。平和に向けて一步前進しようではありませんか。ロータリアンの皆様のご協力を切にお願い致します。

末筆ながら貴クラブ及びクラブ会員皆様方のますますのご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



*Kiyoshi Togasaki  
Memorial Dialogue House*

東ヶ崎潔記念  
ダイアログハウス

募金趣意書

国内外からICUを訪れる教員、学生、同窓生、ゲストの皆様の対話を促す「場」を提供する役割を担っており、2010年8月に竣工。研究者・短期留学生寮、国際会議室、学生サービス関連のオフィスなどを備え、大学食堂と複合施設化した学生生活の核となる施設。



写真上/東ヶ崎潔記念ダイアログハウス外観  
右/3カ国語に対応出来る同時通訳ブースを備える国際会議室。  
ロータリー平和センター年次セミナーにも利用

## 東ヶ崎潔記念 ダイアログハウス 募金についての お願い

国際基督教大学学長  
日比谷潤子



国際基督教大学 (ICU) は、1953年、東京都三鷹市に「敗戦国日本の再起と創造に貢献する『明日の大学』」として献学され、少人数制によるリベラルアーツ教育によって世界を舞台に活躍する人材を輩出してきました。その基本理念の現れのひとつとして、2002年ロータリー平和センターがICU大学院修士課程に設置され、今日まで国際平和に寄与する優れたロータリー平和フェローの育成に大きな評価を得ております。

2013年に献学60周年を迎えるにあたり、ICUは世界平和の建設を目指すダイアログ(対話)の場となることを宣言し、世界の若者が集う「出会いのプラットフォーム」を提供するべく、「ダイアログハウス」を建設いたしました。

ICUはこの施設に、ICU初代理事長であり、日本人初の国際ロータリー会長であった東ヶ崎潔氏のお名前を冠しました。これは、ICUの基礎を築かれた東ヶ崎氏への感謝の気持ちを表すものであり、同時に、先の大戦前後に多くの困難の中にあって、日本人として、また国際人として、世界平和の構築に身を捧げられた東ヶ崎氏の遺志を継いでゆこうという、私たちの決意表明でもあります。

行動するロータリアンの皆様のご支援に支えられ、これからもICUの学生は、平和を創る人材として世界に旅立っていくことでしょう。皆様のさらなるご理解とご協力を心よりお願いいたします。



東ヶ崎潔 一八九五—一九九二

**東ヶ崎潔** ICU初代理事長  
日本人初の国際ロータリー会長

東ヶ崎潔氏は1895年、日本人の両親のもと、サンフランシスコ市に生まれ、第二次世界大戦中は両国の狭間に立ち、ジレンマに悩み苦しむ日々を過ごしました。その後、英字新聞「ジャパントाइムズ」にて、編集局長、社長、会長、相談役を歴任しました。その間一貫して日米間の信頼醸成に尽力し、1968年、日本人初の国際ロータリー会長に選出されました。同氏が真の国際人であることを世界に示す出来事でした。

国際基督教大学 (ICU) は1953年、「戦後の日本に、世界平和のため、新しい大学を創ろう」という日米関係者の呼び掛けに応じた市民の、広範な募金活動によって献学されました。ここでも、東ヶ崎氏はICU初代理事長として、両国の架け橋となり、大学の揺籃期に大きな足跡を残しました。

東ヶ崎氏が発展に力を注いだ、ロータリークラブとICU——両者に共通する点は、世界平和を願う思いであり、それは今日まで絶えることなく続いています。

「Participate! (参加し敢行しよう)」これが国際ロータリー会長として、東ヶ崎氏が掲げた活動テーマです。行動することを呼びかけた氏の理念は、「行動するリベラルアーツ」教育を目指すICUのキャンパスにおける対話の場「ダイアログハウス」建設の意欲と、深く共鳴するものです。



ダイアログハウスの外壁に刻まれている東ヶ崎氏が掲げた国際ロータリーの活動テーマ

## ロータリー平和センターとICU

ロータリー平和フェロウシップは、世界平和に貢献する未来の国際的リーダーを育てる目的で、国際ロータリーが2002年度から開始したプログラムです。世界中から選ばれた、国際平和に寄与する科目を持つ修士コースを擁する大学にロータリー平和センターを設置し、毎年各10名ほどのロータリー平和フェロー (奨学生) を送ることになりました。

このプログラムの中でICUは、優れた教育課程と教授陣及び、語学力も備わったスタッフが揃っていること、創立当初から「世界平和の建設を目指す」ことを一貫して表明しており、それが国際ロータリーの理念と一致したこと、等の理由により、ロータリー平和フェロウシップの受入校として、全アジア地域から選ばれました。2002年には第1期生7名が入学、現在までに、全世界で463名のフェローが誕生し、そのうち70名がICUで学んでいます。

### 7つのロータリー平和センター (2012年時点)

- デューク大学/ノースカロライナ大学チャペルヒル校 (アメリカ)
- ICU (日本)
- サルバドル大学 (アルゼンチン) 新規受入終了
- ウプサラ大学 (スウェーデン) 2012年9月から受入開始
- ブラッドフォード大学 (イギリス)
- クィーンズランド大学 (オーストラリア)
- チュラロンコン大学 (タイ) 短期プログラムのみ



国際ロータリー会長・田中作次様 (後列右から二人目)、ICU理事長・北城格太郎 (後列中央) を囲むICU大学院で学ぶロータリー平和フェロー



世界平和を祈念し1期生が植樹した桜並木

## 国際基督教大学 (ICU) と 献学60周年記念事業

第二次大戦後、国家間の和解と人類愛を求める人々の力強い意思と願いにより献学された国際基督教大学 (ICU) は、キリスト教精神に基づき、世界に門戸を開く大学です。人種・宗教・国政を問わず、全ての学生を平等に受け入れています。徹底した日英バイリンガリズム、年2回ずつ行われる入学式 (4月と9月) と卒業式 (3月と6月) は世界に開かれたICUを象徴するものです。

さまざまな国籍や文化的背景を持つ人々がともに学ぶ東京都三鷹市の森に囲まれたキャンパスは、教育施設はもとより、学生寮や教員住宅が点在し、文化的差を超え、独立した「個」としての全人格的出会いの場となっています。

ICUは、国際理解の進展に貢献することをめざし、これまで2万4千人を数える有為な人材を送り出してきました。その進路は多岐にわたり、活躍の場は世界各国に広がっています。

献学60周年の節目にあたる2013年を中心に2011年度から2015年度までの5年間に献学60周年記念事業期間と定め、リベラルアーツ教育の拡充とICUの教育姿勢と昨今の取り組みを学内外の皆様に一層理解していただくことを目的に、記念事業を展開しています。



## 募金概要

募金の名称	国際基督教大学 献学60周年記念事業「東ヶ崎潔記念ダイアログハウス募金」
募金の目的	東ヶ崎潔記念ダイアログハウス建設費用のため
事業総額	約19億円
募金目標額	2億円
募金期間	2010年4月1日から2016年3月31日まで
募金主体	学校法人国際基督教大学
募金の対象	日本全国ロータリークラブおよび会員の皆様
一口の金額	特に定めておりません。金額に関わらず、ありがたくお受けいたします。
免税措置	本寄付金は所得税の寄付控除の対象となります。2011年より既存の所得控除に加え、税額控除制度が導入され、免税の恩典が拡充されました。また、対象地域においては住民税の税額控除の対象にもなります。領収書などの必要書類は、ご入金確認後にICUよりご寄付者にお送りいたします。
寄付者の顕彰	<b>国際ロータリーの顕彰</b> 建物の入り口に国際ロータリーのロゴマークを掲示いたします。 <b>50万円（累積）以上のご寄付者（個人またはクラブ）</b> 顕彰板にお名前を掲示いたします。 <b>10万円（累積）以上のご寄付者（個人またはクラブ）</b> 「ICUロータリー平和センター支援パーティシペーター*」の称号を差し上げ、感謝状をお送りいたします。また、ICUロータリー平和センターの年次セミナーへご招待いたします。 *東ヶ崎氏の活動テーマであった「Participate!（参加し敢行しよう）」に因む。 <b>1万円以上のご寄付者（個人）</b> ICU大学礼拝堂でのパイプオルガン・コンサートに2名様をご招待いたします。  本学へご寄付いただきました皆様のご芳名やクラブ名を大学広報誌「The ICU」「献学60周年記念事業報告書」、ホームページなどに掲載いたします。

	50万円以上	10万円以上	1万円以上
顕彰板へのご芳名の掲示	○		
パーティシペーターの称号・感謝状・セミナーご招待	○	○	
パイプオルガン・コンサートご招待	○	○	○

## ご寄付の方法

### I ロータリー・クラブでとりまとめたご寄付

例会などでクラブごとにお集めいただきましたものを、クラブごとに専用振込用紙にてご送金ください。ガバナール事務局宛に月ごとに本学よりご寄付の報告をお送りいたします。

### II 本学への直接の送金によるご寄付

個人宛領収書をご希望の場合はこちらの方法をご利用ください。

#### ■銀行・ゆうちょ銀行からのお振り込み

##### ① 専用の振込用紙でのお振り込み

ゆうちょ銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行の本・支店窓口から振込まれる場合には手数料のご負担はありません。

##### ② ATM・インターネットバンキング

免税書類送付のため、必ず事前に振込人情報（お名前、ご住所、地区番号、クラブ名）を下記Friends of ICU事務局宛、お電話、ファックス、Eメールなどにてご連絡ください。

#### ■クレジットカードでのご寄付（Visa/MasterCard）

VisaかMasterCardがついたクレジットカードをお持ちの場合は、ICUホームページ（<http://www.icu.ac.jp>）から簡単な操作でご寄付いただけます。

[ [ICUホームページトップ](#) > [献学60周年記念募金](#) > [6. 寄付の払い込み方法](#) > [クレジットカードによるご入金](#) ]

ご寄付の方法については下記URLでもご案内しております。

<http://subsite.icu.ac.jp/fundraising/togasaki/>



学校法人国際基督教大学 法人業務部

Friends of ICU事務局

phone 0422-33-3041 fax 0422-33-3763 e-mail [foi@icu.ac.jp](mailto:foi@icu.ac.jp)

<http://www.icu.ac.jp/>

# ICUへのご寄付は寄付控除の対象となります

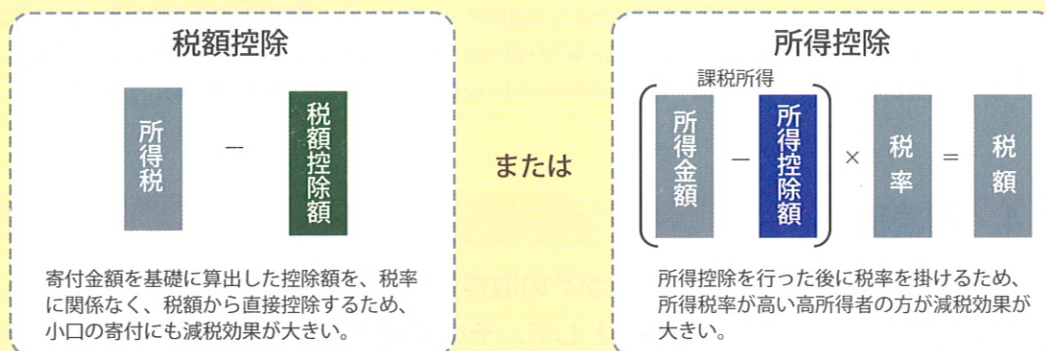
税額控除の適用により、寄付金の免税恩典が拡充されました

学校法人国際基督教大学（ICU）への寄付金は、所得税、法人税、相続税の税制上の優遇措置が受けられます（※）。特に、平成23年度の税制改正に伴い、個人がICUへ寄付をした場合、当該寄付金について、寄付金額の40%を所得税から税額控除できるようになりました。この税額控除制度は、一般的に既存の所得控除より減税効果が大きく見込めます。

※高等学校教育充実資金を除く

## 1. 所得税（個人）

平成23年より税額控除制度が導入され、ご寄付者（納税者）は「税額控除制度」と「所得控除制度」のうち、どちらの制度を利用するかを選択することができるようになりました。確定申告書時に必要な書類は、領収書と併にICUから送付いたします。詳しくはお近くの税務署にお尋ねください。



■ 税額控除額の算定方法 次の算式により算出された額が「寄付金控除」として所得税から控除されます。

$$(\text{税額控除対象寄付金} - \text{2,000円}) \times 40\% = \text{税額控除額} \leq \text{所得税額の25\%}$$

(適用下限額) (控除率)

■ 所得控除額の算定方法 次の算式により算出された額が「寄付金控除」として所得から控除されます。

$$(\text{寄付金控除対象寄付金} - \text{2,000円}) = \text{所得控除額} \leq \text{所得税額の40\%}$$

(適用下限額)

▶ 年収により試算した所得控除と税額控除の比較は裏面をご覧ください。

▶ 参照ページ：国税局 タックスアンサー NO.1266 「公益社団法人等に寄附をしたとき」

<http://www.nta.go.jp/taxanswer/shotoku/1266.htm>

## 2. 法人税

ICUへのご寄付は一般寄付金の損金算入限度額とは別枠で、当該事業年度の損金に算入することができます。寄付金額を一定の限度額まで損金算入できる「特定公益増進法人に対する寄付」と寄付金額全額を損金に算入できる「受配者指定寄付金」をお選びいただけます。詳細は Friends of ICU 事務局までお問い合わせください。

■ 損金算入限度額の算定方法

$$(\text{資本等の金額} \times \frac{2.5}{1000} + \text{所得金額} \times \frac{5.0}{100}) \times \frac{1}{2} = \text{損金算入限度額}$$

### 3. 住民税（個人）

平成 20 年度税制改正により、地方公共団体の条例によって ICU が指定の対象になっている下記地域にお住まいの皆様は、個人住民税も税額控除の対象となっております（2012 年 3 月現在）。

都道府県	東京都
市区町村	三鷹市・武蔵野市・小金井市

#### ■ 住民税の税額控除額算定方法

$$(\text{寄付金額} - 2,000 \text{ 円}) \times \text{控除率} \leq \text{税額控除額} \leq \text{当該年分の総所得金額等の 30\%}$$

- ※控除率 都道府県が指定した寄付金 4%  
市区町村が指定した寄付金 6%

三鷹市、武蔵野市、小金井市にお住まいの皆様は 10%（都民税 4%、市民税 6%）、それ以外の東京都内にお住まいの皆様は 4%に相当する額が個人住民税から控除されます。

- ▶ 上記以外の地方公共団体についても、条例指定の動きがございます。申告をご予定の際は、あらかじめ十分な時間をもってお住まいの都道府県・市区町村の税務担当課にご確認ください。
- ▶ ご寄付いただいた年の翌年 1 月 1 日現在の住所地がある都道府県・市区町村が、寄付控除の条例の対象となります。
- ▶ 個人寄付者の名簿提出の要請があった場合に、東京都及び都内区市町村へ提出することが義務づけられております。上記名簿に寄付者氏名・住所・寄付金額・寄付金受領年月日を記載し、提出することをあらかじめご了承ください。

### 4. 相続税

相続または遺贈により財産を取得した人がその取得した財産を相続税の申告期限までに ICU に寄付した場合、学校法人への寄付として、その寄付金には相続税が課税されません。非課税の扱いを受けるためには「相続税非課税対象法人証明書」（ICU からの申請により文部科学省が発行）が必要です。証明書の発行まで約 1 ヶ月かかりますので、お早めにご相談ください。詳細は Friends of ICU 事務局にお問い合わせください。

個人所得税の所得控除と税額控除の比較（目安）

ご寄付者の年収	所得税率	所得控除（既存）	税額控除（新設）	差額
<b>例 1） 1 万円をご寄付された場合</b>				
300万円	5%	¥400	¥3,200	¥2,800
500万円	20%	¥1,600	¥3,200	¥1,600
1,000万円	23%	¥1,840	¥3,200	¥1,360
1,500万円	33%	¥2,640	¥3,200	¥560
<b>例 2） 5 万円をご寄付された場合</b>				
300万円	5%	¥2,400	¥18,750	¥16,350
500万円	20%	¥9,600	¥19,200	¥9,600
1,000万円	23%	¥11,040	¥19,200	¥8,160
1,500万円	33%	¥15,840	¥19,200	¥3,360
<b>例 3） 10 万円をご寄付された場合</b>				
300万円	5%	¥4,900	¥18,750	¥13,850
500万円	20%	¥19,600	¥39,200	¥19,600
1,000万円	23%	¥22,540	¥39,200	¥16,660
1,500万円	33%	¥32,340	¥39,200	¥6,860

- ▶ この試算では 150 万円の所得控除を想定しています。控除の種類により、同一収入でも寄付控除額が異なります。